



2025 明治安田 J3 リーグ 第 30 節
10/4 (土) 14:00 kick off
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

today's guest

ザスパ群馬

順位表 9/29現在 基本 29試合消化時点

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から視て）

注：＊印は消化試合が数字分少ない

1	八戸	60p	+19	36	17	H●	A●
2	栃木C	57p	+17	48	31	A●	
3	鹿児島	54p	+27	56	29	A●	
4	宮崎	50p	+8	42	34	H●	
5	FC大阪	49p	+12	39	27	A△	
6	奈良	45p	+6	39	33	A△	H△
7	栃木SC	43p	+3	31	28	H●	
8	北九州	40p	+1	30	29	HO	AO
1*9	金沢	38p	-1	33	34	H●	
10	福島	38p	-11	48	59	A●	H●
11	相模原	37p	-10	29	39	H△	AO
1*12	松本	36p	-1	31	32	H△	A●
13	鳥取	36p	-4	28	32	A●	
14	岐阜	35p	-5	36	41	---	---
15	琉球	34p	-7	31	38	A●	HO
16	高知	34p	-13	37	50	H△	
17	長野	29p	-14	25	39	AO	HO
18	群馬	28p	-8	38	46	A△	
19	讃岐	28p	-8	34	42	HO	A△
20	沼津	21p	-11	31	42	HO	AO

次回HomeGame

第33節 vs.鹿児島ユナイテッド

10/25 (土) 14:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休：月曜日

今日もここから
串かつで一杯
煮込み珍道中
14:30～22:00 (L.O. 21:00)
※売り切れ次第、終了です
＜定休日：日曜・祝日＞
TEL. 058-252-1580

忠節橋
通り

JR 岐阜駅
北口より
北西方面へ
徒歩約 10 分

★

アミカ

ドミ
イン



JR
岐阜駅

通算対戦成績	全24試合 (J2:22試合, J3:1試合, 天皇杯:1試合) 岐阜9勝 / 群馬8勝 / 7分け Jリーグ岐阜ホーム戦：5勝3分2敗			
直近の対戦結果	2025/05/03 群馬 1-1 岐阜 得点者:栗飯原尚平 J3 - 11節 @ 正田スタ			
ここ 3試合の 公式戦の 結果	岐阜	2025/09/27 J3 - 29節 @愛鷹 沼津 1-2 岐阜	群馬	2025/09/27 J3 - 29節 @ 正田スタ 群馬 1-1 相模原
		2025/09/20 J3 - 28節 @長良川 岐阜 2-1 長野		2025/09/20 J3 - 28節 @ A x i s 鳥取 3-1 群馬
		2025/09/13 J3 - 27節 @ギオンス 相模原 0-5 岐阜		2025/09/13 J3 - 27節 @ミクス 北九州 1-0 群馬

● J3 リーグ 2025 シーズン、ようやくチームの調子が上向きになってきた F C 岐阜。9/20 (土) 第 28 節・ホーム長野戦は、前半 6 分に CK から先制されてしまう。その後もピンチを迎えるが 2 失点目を許さずに守ると、試合の流れを掴んで攻勢に転じた岐阜。なかなか得点が奪えないが、前半 42 分に #18 山谷侑士のヘッドで同点に追いつくと、後半は岐阜が猛攻をかける。ここでもゴールが遠かったが、#25 ブヴィック・ムシティ＝オコが得た PK を、後半 33 分に #10 北龍磨がしっかりと沈めて逆転に成功。そのまま試合は終了し、2-1。4 連勝、そして 3/1 (土) 北九州戦以来となる、逆転勝利を掴み取った。続く 9/27 (土) 第 29 節・アウェイ沼津戦でも、沼津が有利に試合を運ぶ展開になるが、GK #1 茂木秀のビッグセーブもあり、前半はスコアレスで折り返す。HT に 2 人を交替して修正を図った岐阜は、後半 8 分に #25 ムシティ＝オコの J 初ゴールで先制し、後半 27 分には #16 西谷亮のゴールで追加点。その後、沼津にゴールを奪われて 1 点差に詰め寄せられたものの、守り切って 2-1。これで、岐阜は (J 参入後は) クラブ史上初となる 5 連勝を達成した。

この 2 試合を連勝した結果、順位は 16 位から 14 位に上昇。最下位 (= J F L 自動降格・J3 会員喪失か?) 沼津との直接対決を制したため、その勝点差を 14 と大きく上げ、また、19 位・讃岐との勝点差も 7 に。一般的に言われる『残留ライン = 1 試合あたり勝点 1』の基準から見れば、あと勝点 3 を積み上げれば良い位置にまで、ようやく順位を持てることができた。そして、ようやく中位争いに食い込む位置にやってきた。現時点では、勝点差 5 で 8 位 (暫定)・北九州までが射程圏に入っている。そして、今節の群馬 (ホーム)、10/12 (日) 高知 (アウェイ) と、(現時点では) 下位チームとの重要な “6 ポイントマッチ” がまだまだ続く。ここから決めて油断することなく、残り 9 試合で、どれだけ勝利を積み上げることができるかという、本当に重要な局面を迎えていると言えるだろう。そして何より、5 連勝したにもかかわらず、まだ今季は 9 勝しかしていない。敗戦数の方が多い成績に、僕らサポーターはもちろん、選手たちも満足しているはずがない。

さて、今節の対戦相手は先述のとおり、ザスパ群馬だ。2018 年～2019 年は J3 で、2020 年から再び J2 に復帰していたが、昨季は最下位に終わり、J3 降格が確定。今季は (群馬県出身で昨季まで群馬の選手だった) 細貝萌氏が社長兼 GM に就任。選手を大幅に入れ替え、スタッフも一新した上で、札幌でのコーチ経験が長い、沖田優監督の初采配で J2 復帰を目指している。しかし、全く新しいチームで戦術の浸透に時間がかかり、現在は 6 勝 10 分 13 敗・38 得点 46 失点で 18 位と苦しんでいる。前々節まで 5 連敗していたが、前節の相模原戦では後半 AT に同点に追いつき、勝点 1 を手にして、復調の兆しが見えているチームだ。楽な対戦相手ではない。残留争いをしているチームの方が、死にものぐるいで向かってくるのは、それこそ前節・沼津戦で、僕らが十分に痛感しているはずだ。

これまでの群馬との通算対戦成績は、岐阜の 9 勝 7 分 7 敗・23 得点 24 失点。ただし、今季より以前は、2017 年の J2 での対戦にまで遡るので、参考にならないだろう。そして今季の 5/3 (土) 第 11 節・アウェイ戦は、群馬が優勢に試合を進めるも、後半に岐阜が先制。しかしその後も群馬の攻勢に押され、後半 45 分に群馬の #11 加々美登生に同点ゴールを決められてしまい、1-1 の悔しい結果に。今節は、試合終了の笛が鳴るまで集中して、しっかり勝ちきる姿を見せて欲しい。

群馬の要注意選手には、現在 5 得点の #9 青木翔大を挙げる。また、前節で劇的な同点ゴールを決めた #5 山口一真 (松本から期限付き移籍で夏に加入) にも警戒が必要だ。そして、毎試合ビッグセーブを連発する GK #13 近藤孝成の壁を崩すことが、岐阜の攻撃陣には求められる。その意味では、昨季まで群馬に期限付き移籍していた #29 川本梨誉に、是非とも “恩返し弾” を決めて貰いたいところだ。

今季の残り 9 試合、簡単な試合などひとつも無い。目の前の 1 試合を、一戦必勝で、貪欲に勝利を目指し、ひたむきに 90 分間走り続け、そして勝利を掴む姿を見せて欲しい。そのために、今節も僕ら F C 岐阜サポーターは、選手たちの背中をしっかりと後押ししてゆこう。最後まで、チャントや拍手で、タオルマフラーやフラッグで、選手たちを鼓舞し続けよう。今節も再び、選手たちと共に勝利の歓喜を分かち合い、万歳四唱を。そして新たな歴史の扉を開き、“HYPER CHANT” を、このホームスタジアム・長良川に響き渡らせよう。(ささたく)

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

【第28節】岐阜2-1 長野

●1万人集客を目指していたけれど、事前には大雨の予報。でも蓋を開けると、試合開始までは降らずに天気が保ってくれた。ホントに、“ハンドパワー”に感謝です（笑）。しかし、試合の入りは長野の方が良く、前半早々にCKで失点。こーゆー集客のかかった試合の時って、良くない試合をする記憶がこびりついて、嫌なイメージになったのは僕だけでしょうか（苦笑）。そして、前半15分頃に長野のミドルがポストを叩いた時には本当に肝を冷やしたし、かなり厳しい展開だったと思う。長野が試合の序盤から、かなり強いプレスをかけていて、それが試合の流れを掴む要因になっていたと思うんだけど、その後は徐々に岐阜の選手たちが慣れてきて、一方の長野の選手たちの足が止まってきて、そこから岐阜のペースに。しかし、シュートは撃てるけれど、なかなかゴールに届かない。そろそろゴールが欲しい……と思っていた前半42分、#10北龍磨の浮き球を#18山谷侑士が豪快にヘッドで叩き込んで同点弾！これで勢いに乗った岐阜は、後半に長野のゴールに猛攻を仕掛ける。だけど、フィニッシュでわずかに精度を欠いて、あるいは相手の守備に阻まれてしまう。これは時間との我慢比べの勝負になるかも……と思い始めた後半30分を経過した頃、#14生地慶充のロングパスに、#25ブヴィク・ムシティ＝オコが抜け出すと、相手GKに倒されてPK獲得！その後の（祈っていた）時間の、何と長かったことか（苦笑）。しかし、あの大事な場面で#10北龍磨は冷静に“パネンカ（チップキック）”を決めてみせ、逆転！その後に追加点があれば尚よかったけれど、#19松本歩夢の復帰戦にもなったし、7,377人の観客が入った中で、しっかりと勝ちきることができて、本当に良かった。スタッツでは、シュート本数が27-10（!）。長野サポさんたちは、先制したけどシュート撃たれまくって逆転されて……なので、相当しんどい試合だっただろうなあ……。ただど一方で、岐阜サポとしては、これだけ撃ったのなら、もう少し点数入ってもいいんじゃないかと思う（笑）。まあ、勝てて反省点があるのは良いことです。これで4連勝。だけど、まだ勝利が足りない。ようやく見えてきた明るい兆しを、もっと輝くものにできるよう、勝ち続けて欲しいです。（ささたく）

●なぜだか、龍磨が蹴った瞬間にボールを見失って、気がついたらネットが揺れてた。もったいないコトをしちゃったね。パネンカ？パネンカって言うんですか？ああいう、チップ・キックのPK。ウチの10番にはお似合いだねえ。しかし、チームの決め事だからなんだろうけど、PKを獲ったオコが蹴りたい素振りも見せなかったのに驚いた。いいヤツだなあ。今度は流れの中で自ら決めちゃってください。期待してるよ！試合自体は開始早々から流れを奪われて、CKから失点。だけど、雰囲気的に全く慌ててなかったんで余裕を持って見ていられた。その後の展開も悪くなく、コレは少なくとも負けはないな……と見ていた中での逆転勝ち。ウチって、こんなに強かったのか。望外の喜び。なんで、今まで出来なかったんだろう（苦笑）。

5桁の集客は出来なかったけれども、逆にあの天候で7,000人超はスゴイ。クラブや関係者の奮闘に敬意を表します。ただ、帰りはスムーズに流れたのかしらん？その辺だけが気になるところ。今後のためにも検証をお願いします。

さて、次節は一番。沼津に勝てば、その差は14に広がる。そうなれば、さすがに自動降格の心配はなくなるんじゃないかな？どんな形でも構わない。絶対、勝とうね！（ぐん、）

●試合開始早々から長野は飛ばし気味に仕掛けてきた。競馬用語だと「かかり気味」、競輪用語だと「カマシ先行」。CKからサックリ先制され、その後もポスト直撃の素晴らしいミドルを撃たれたり。でも頼もしかったのは、岐阜の選手たちが動揺もしてなかったし慌ててもなかったことだ。キチンと自分たちの手順通りに相手守備を崩してゴールに襲いかかって

いて、前半のうちに同点に追いつくだろう、追いつけなかったらその時に考えればいいや、というくらいに落ち着いていた。そして、前半終了近くにジン→リョーマのスイッチからクロスが入って山谷の叩きつけヘッドで同点。

前半終了時点で同点だし、ここまでは互角。でも、「カマシ先行」で来ている長野が後半もあのサッカーが出来るとは思えなかったし（出来るようならこの順位にいないでしょう）、岐阜には重戦車・オコ砲が控えている。実際、オコ投入時のメインスタンドの盛り上がりは相当なモノだった。特にこども達。既に人気者ですよオコちゃん。そして、中盤でボールを確保するとおいちゃんが浮き球のスルーパス。エリアの中でGKより先にオコが触れるような絶妙な軌道、絶妙な逆回転。GKとオコは交錯せざるを得ず、PKをゲット。リョーマは見事なパネンカ（横に動くGKに対し、ゴール中央付近にふわりとした軌道のキックを入れる。大胆な駆け引き能力が要る）を決めて逆転。以後はしっかりとゲームをコントロールして試合終了の笛を迎えた。

かくして「序盤は互角ながら終わってみれば順当」な試合でJ参入後自己タイの4連勝。とてもとても4試合前まで自動降格順位に片脚が触れていたとは思えない、自信溢れたプレー。もちろん、この夏の補強（オコや川本や山谷やシンタロー、サブにも福田晃斗がいた）の効果も大きいだろう。ぼくも「いまのメンバーがいたら、大島監督でも何とかなったのでは？」と思ったこともある。でも、この試合でそれは見当外れだと思い知ったね。

守備から攻撃に変わる「ポジトラ」時。対峙する相手は当然プレスをかける（そこで奪えればショートカウンターを仕掛けられる。ゲーゲンプレスというヤツだ）けど、それをかわす『プレス外し』の技術が格段に上がった。かなり念入りに練習を重ねているのだろう。攻撃から守備に変わる「ネガトラ」時の破綻も明らかに減った。大島時代の岐阜は「FWが攻撃の最後にしか参加しない」スタイルが特徴で、誰とは言わないけど八戸に戻っていった彼は「前でもらう」「前進しながらもらう」しかなくて、攻撃の組み立ては（攻撃の駒が足りないの）中盤が無理して押し上げて作っていく。なので「ネガトラ」時にはボランチ層は上がったまま、相手のカウンターをDF陣が直接受けることになる。そりゃあ、鉄人カイケンだってそんなプレーをずっと強いられたら疲弊しちゃうよね。いまは攻撃時にFWが（西谷も川本も）ちゃんと落ちてくる。さらに、両SBが相手ペナエリアの角付近でポイントを作った時にその前のスペースを使うか走り込ませておいてカットインさせるか、どっちにしても誰かが走り込んでいるのだから自陣にスペースが出来るわけだが、そのマネージもちゃんと出来ているように見える。だから「ネガトラ」時に中盤すっかすかということが起こりにくい。

監督交代ブースト（交代したらすぐに結果が出る）は起きなかったけれど、交代効果は確実に顕われてきた。石丸氏が愛媛の監督を解任になって約1ヶ月で、よく交渉をまとめて引っ張ってきてくれました。クラブ・スタッフにグッジョブのサムアップを。（吉田 Casting）

【第29節】沼津1-2 岐阜

●まさに『来た、見た、勝った』と表現するのに相応しい試合じゃなかっただろうか。（Jリーグ参入後としては）クラブ史上初の記録となる、5連勝のかかった試合。そして、J3残留を（ほぼ）確実なものとするための、最下位・沼津との直接対決。土曜日開催だし、そりゃあ絶好の遠征日和。後援会のバスツアーも催行され、岐阜サポは合計で500人ぐらい集まったんじゃないかしら？だけど、試合は序盤から完全に沼津のペース。9/14（日）に中山雅史監督が退任し、鈴木秀人ヘッドコーチが監督に就任、そして初戦の9/21（日）奈良戦で勝利した沼津。嫌な予感ではしていたけれど、「ホントに最下位のチームか！？」っていうぐらい、アグレッシブに

良い守備と攻撃をしていて。やっぱり、監督が変わるとチームも変わるんだよなあ、監督ってホント大事だよなあ……と、つい1ヶ月ほど前までの自分たちを振り返ってしまったのは僕だけでしょうか（苦笑）。ただ、GK#1茂木秀のビッグセーブ連発にも助けられましたが、沼津は決定機で決めきれなくて。最後に焦りが出てたんじゃないかと思うと、これもまた、1ヶ月ほど前までの自分たちを見るようで（苦笑）。なんとかスコアレスで前半を折り返すと、HTに#25オコ（正確には姓が“ムシティ＝オコ”みたいなんですが、“オコ”と呼んじやいます（笑））と#97福田晃斗を投入、これが効いた。#25オコの（重戦車ばりの）突破と、#97福田の広い守備範囲で試合の流れを引き寄せ、後半8分に#25オコがPA内の混戦から押し込んで、待望の先制点！そして後半27分には、再び#25オコが沼津の守備陣を引き連れて、#16西谷亮が預けられたボールをしっかりとゴールに収めて追加点！その直後に沼津に1点差に追いつかれてしまったのは反省しなくちゃいけないけど、あれは撃った相手を褒めるしかないような軌道のシュートだったよね……（苦笑）。最後はしっかりと守り切って、5連勝。1ヶ月ほど前まで、こんな状況が想像できてなかったのは僕だけでしょうか（苦笑）。でも、まだまだ記録は伸ばせるはずだし、伸ばさなきゃならない。そうすれば、もう少し上が見えてくるハズだ。だから次節も、しっかりと勝ちきって欲しいです。（ささたく）

●『今季の一番』。勝手にそう思っていた沼津戦。それを勝ち切ってくれた。それだけで、もう、満足です！しかし、またまた、モギシュー大活躍。本当にありがとう！有り体に言えば、どっちに転んでもおかしくなかった。全く以って、この日の沼津はやバかった。どうして、コレで最下位なんだろ……などと、トボケなくてもいいか。指揮官が代わったからだよね。

昨今は（某サッカー漫画に出てきたキャラのセリフみたいに）「監督ブーストなどない。」などと思っていた自分。「いったい、どの口が？」という話だね。それほどに『指揮官』という存在は重要なんだと改めて。おかげさまで、『残留』という最低限のノルマは達成出来そうな状況。夏の補強も大成功だった。出来るんなら最初っか……、いや、なんでもない。

ウワサには聞いてた、オコの前宙も見せてもらえた。目の当たりにした現地組が羨ましい。ハイパーチャントではドウドウやセラントスが魅せてくれたとか。やっぱり、現地、ですよねえ。それから、やっぱり、J参入後初めての5連勝。おめでとう！ありがとう！！このまま、ラストまで駆け抜けちゃいましょう！！（ぐん、）

●やはり「対戦してみないとわからない」ということはあるもので。現在J3で最下位、ひとつ上の19位とも差をつけられている沼津は、その順位からは想像できない、とてもいいサッカーをしていた。指揮官が替わってすぐでこれだけの内容になるとは。あえて嫌な言い方をすれば「これなら、前監督時代の岐阜の方がずっと最下位に相応しい」と思うってしまうような。でも、スコアレスで前半を終えた時には「順位というものは正直だ、このサッカーが90分続けて出来るのならいまの順位にはいないだろうから、そのうちに脚が止まるだろう」とも思っていた。

思い返せば、5試合前の岐阜がそうだったじゃないか。第25節を迎える前の岐阜は降格圏内の19位、対戦相手の琉球は勝ち点8差の15位。でも、順位は時に予想を裏切る。岐阜は1-0で琉球に勝ち、そこから連勝を重ねた。この日の沼津が順位を踏まえた予想を裏切ることもあって当然。岐阜と同じく、指揮官が替わったのだから。

実際、沼津の脚は止まらなかった。試合を決めた主な要因は、敵将・鈴木秀人監督も認めた「決めきる力」。岐阜のGKモギシューのがんばりがあって沼津はなかなか決め切れず、岐阜は逆に後半あたまで投入のオコがその体躯で相手守備陣を、まるで第一次大戦で敵の塹壕を踏み潰していく菱形戦車のように（しかも菱形戦車よりずっと速い）破っていく。破った

ところでボールをキープして（ホントにボールを失わないよね、懐が深くてしかも足技もある）上がってくる後続をキチンと活かすことも出来る（2点目の西谷のゴールの場面、オコが沼津DFを4人も引き連れていた）。どういうルートで岐阜に来たのかわからないけれど、強化担当にはグッジョブとしか言いようがない。

これで、J昇格後7度目の挑戦で初めて「J」のリーグ戦5連勝」を勝ち取った。SNSに試合後のロッカールームの動画（チームスタッフが撮影）が出ていたけれど、石丸監督から「反省点はたくさんあるかもしれない、でも勝った、それはすごいことだ」との話が出ていた。いい雰囲気に見えた。前監督の頃は、『勝つ』というのは果たしてどれくらいの比重だったのだろう。（吉田铸造）

現時点のJFLの状況。

●FC岐阜のJFL降格が見えてきた時期から始めたこのコーナーですが、ここ最近の絶好調を受けて「降格に怯える」状況はかなりクリアされてきたと考えます。それでも、J3残留争いの重要な要素ですので、解説を軽めにして続けることにします（紙面構成により割愛する場合があります）。9/25にJの来季ライセンスが発表され、JFL上位のレイラック滋賀、ラインメール青森、ヴェルスパ大分は揃ってライセンスが交付されました。あとの条件は成績（上位2位以内）と観客動員数（1試合平均2,000人）を踏まえてということになります。

1位：Honda	勝ち点44	
2位：青森	勝ち点44	ライセンス取得 1,923人
-----J3昇格ライン-----		
3位：滋賀	勝ち点44	ライセンス取得 2,098人
4位：沖縄	勝ち点42	
5位：V大分	勝ち点37	ライセンス取得 1,925人
6位：浦安	勝ち点37	

上位4チームが抜け出た感があります。ヴェルスパ大分は昇格ゾーンに（野球的に形容すれば）2ゲーム以上の差がついたので、少々しんどいですね。現在、J3では沼津が19位と離されての最下位なので、（自身で抜け出すこともですが）天皇杯予選で戦うこともある同県のHondaFCに頼る沼津サボも多いかと思料します（HondaFCか沖縄SVが優勝すればJ3最下位は入替戦になるので残留の機会が増える）。（編集人・吉田铸造）

来年の前半の大会の日程概要が「さらにさらに」発表になりました。

●2026シーズンからJリーグは（JFLも）『秋春制』が導入されることは決まっています、リーグ戦は秋（というか夏）にスタート。そのため、春から夏にかけて特別な大会が開かれます。この大会名称が「明治安田J1百年構想リーグ」「明治安田J2・J3百年構想リーグ」と発表になりました。岐阜が参加するのは（当然ですが）後者です。で、これも当然なんですがこの大会はJ2&J3混成の大会なので、大会の結果による昇降格は発生しません。肝心の『秋春制』の運用に関する情報が全然出てこないところに苛立ちを感じるところもありますが、要するにまだ全然決まっていないのでしょうね（苦笑）。（編集人・吉田铸造）

